

授業科目 治療技術特論

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	理学
亀尾 徹、佐藤 成登志、非常勤講師		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 理学療法の基盤となる「思考」について考え、自己内省過程を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人体の機能解剖を理解する。 2. 臨床で必要とされる実践的な評価方法を理解する。 3. 機能解剖、生理学などの基礎医学的知識と、臨床的評価・治療との関連づけを強化する。 4. 具体的治療技術を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	クリニカルリーズニング総論・演習（1）	1～3	講義・演習、担当：亀尾 徹		
2	クリニカルリーズニング総論・演習（2）	1～3	講義・演習、担当：亀尾 徹		
3	クリニカルリーズニングに基づいた評価と治療（1）	1～3	講義、担当：亀尾 徹		
4	クリニカルリーズニングに基づいた評価と治療（2）	1～3	講義、担当：亀尾 徹		
5	関節安定化エクササイズ総論（1）	1～4	講義、担当：亀尾 徹		
6	関節安定化エクササイズ総論（2）	1～4	講義、担当：亀尾 徹		
7	神経障害性疼痛（1）	1～4	講義、担当：亀尾 徹		
8	神経障害性疼痛（2）	1～4	講義、担当：亀尾 徹		
9	マイオチューニングアプローチ（MTA）総論	1～4	講義（理論）、担当：佐藤 成登志		
10	マイオチューニングアプローチ（MTA）各論（1）	1～4	講義（基本手技）、担当：佐藤 成登志		
11	マイオチューニングアプローチ（MTA）各論（2）	1～3	講義（応用手技）、担当：佐藤 成登志		
12	MTA 演習（1）	1～4	演習（肩甲骨・肩関節周囲）、担当：佐藤 成登志		
13	MTA 演習（2）	1～4	演習（体幹周囲）、担当：佐藤 成登志		
14	MTA 演習（3）	1～4	演習（腰部・股関節周囲）、担当：佐藤 成登志		
15	MTA 演習（4）	1～4	演習（膝関節周囲）、担当：佐藤 成登志		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし			
参考書		マニュアルセラピーに対するクリニカルリーズニングのすべて	Mark A. Jones、Darren A. Rivett、亀尾徹監訳	協同医書	2010・10,000円＋税
		マイオチューニングアプローチ入門	高田治実	協同医書	2009・6,000円＋税
		痛みと麻痺に対する治療的手技			
その他の資料		治療効果をあげるための自動的・他動的ストレッチ	Jane Johnson、佐藤成登志監修	ガイアブックス	2014・2,400円＋税
		エビデンスに基づいた徒手療法	マイケル・A・セフェンジャー、レイモンド・J・ハルビー、佐藤成登志監修	ガイアブックス	2012・6,500円＋税
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験		【履修上の留意点】			